

2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月12日

上場会社名 滝沢ハム株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2293 URL <https://www.takizawaham.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 瀧澤 太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 山口 輝 (TEL) 0282-23-5640
 定時株主総会開催予定日 2026年6月24日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月23日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	26,565	△5.4	△383	—	△361	—	△230	—
2025年3月期	28,088	△0.4	△432	—	△405	—	△495	—
(注) 包括利益	2026年3月期		△142百万円(—%)		2025年3月期		△480百万円(—%)	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率	
	円 銭	円 銭	%	%	%	
2026年3月期	△112.20	—	△6.8	△2.9	△1.4	
2025年3月期	△241.16	—	△13.2	△3.1	△1.5	
(参考) 持分法投資損益	2026年3月期		—百万円	2025年3月期		—百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産		
	百万円	百万円	%	円 銭		
2026年3月期	12,065	3,338	27.7	1,625.64		
2025年3月期	12,466	3,480	27.9	1,695.00		
(参考) 自己資本	2026年3月期		3,338百万円	2025年3月期		3,480百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	475	295	△211	1,640
2025年3月期	3	△496	△190	1,081

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00	—	51.3	—

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日~2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,450	1.5	△60	—	△70	—	△20	—	△9.74
通 期	27,900	5.0	80	—	60	—	80	—	38.96

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 一社(社名)一、除外 一社(社名)一

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2026年3月期	2,102,000株	2025年3月期	2,102,000株
2026年3月期	48,469株	2025年3月期	48,469株
2026年3月期	2,053,531株	2025年3月期	2,053,531株

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	26,466	△5.5	△391	—	△362	—	△230	—
2025年3月期	27,992	△0.3	△437	—	△405	—	△495	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2026年3月期	△112.20		—					
2025年3月期	△241.10		—					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	11,839	3,219	27.2	1,567.71
2025年3月期	12,290	3,409	27.7	1,660.41

(参考) 自己資本 2026年3月期 3,219百万円 2025年3月期 3,409百万円

2. 2027年3月期の個別業績予想(2026年4月1日~2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,400	1.5	△70	—	△20	—	△9.74
通期	27,800	5.0	60	—	80	—	38.96

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付書類4ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

① 当連結会計年度に関する分析

当連結会計年度における国内外の経済活動は、緩やかな改善が見られた一方、アメリカによる関税措置、ウクライナ情勢の長期化、日中関係の緊張、ホルムズ海峡における原油供給不安など、地政学リスクの拡大により不確実性の高い状況が続きました。国内においても、円安の長期化に伴う輸入原材料価格やエネルギーコストの上昇、物価上昇による実質購買力の低下などから、個人消費の回復は力強さを欠く展開となりました。

当社グループを取り巻く事業環境も依然として厳しい状況にありましたが、「消費者に感動を与え続ける商品をお届けし、地元愛と共に社員満足の高い食品企業への成長を続ける」というビジョンステートメントのもと、「新商品の開発と販売促進の強化」「生産・加工体制の見直しによる生産性向上」「原価低減施策の継続」「仕入先の多様化や規格変更による原材料調達リスクの低減」などの施策に取り組んでまいりました。

しかしながら、物価上昇に伴う個人消費の減退により販売数量が減少し、当連結会計年度の売上高は265億65百万円（前年同期比5.4%減）となりました。一方、損益面では、輸入牛肉をはじめとする原材料価格の高止まり、エネルギーコストの上昇、人件費の増加などのコストアップ要因を吸収しきれず、営業損失・経常損失は改善したものの依然として厳しい水準となりました。その結果、営業損失3億83百万円（前年同期4億32百万円の営業損失）、経常損失3億61百万円（前年同期4億5百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する当期純損失2億30百万円（前年同期4億95百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。

部門別の概況は次のとおりであります。

食肉加工品部門

食肉加工品部門につきましては、ハム・ソーセージ等の販売数量が減少し、売上高は102億10百万円（前年同期比7.0%減）となりました。

惣菜その他加工品部門

惣菜その他加工品部門につきましては、新商品の導入等もあり、売上高は51億50百万円（前年同期比0.2%増）となりました。

食肉部門

食肉部門につきましては、輸入ポークの取扱いが減少し、売上高は111億5百万円（前年同期比6.4%減）となりました。

その他部門

その他部門につきましては、外食部門等の売上高は98百万円（前年同期比2.4%増）となりました。

② 販売実績

当連結会計年度における販売実績を事業部門別に示すと次のとおりであります。

(単位：千円)

事業部門別	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)	比較増減	前年同期比 (%)
食肉加工品	10,981,367	10,210,441	△770,925	93.0
惣菜その他加工品	5,141,564	5,150,591	9,026	100.2
食肉	11,869,632	11,105,604	△764,027	93.6
その他	96,231	98,580	2,348	102.4
合計	28,088,795	26,565,217	△1,523,578	94.6

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産・負債

当連結会計年度末の資産は、前連結会計年度末と比べ4億1百万円減少し120億65百万円となりました。これは、主に現金及び預金が5億59百万円増加しましたが、商品及び製品が3億54百万円、投資有価証券が1億75百万円、売掛金が1億36百万円、建物が1億22百万円、リース資産が1億6百万円それぞれ減少したことによるものであります。

当連結会計年度末の負債は、前連結会計年度末と比べ2億59百万円減少し87億26百万円となりました。これは、主に短期借入金が2億円増加しましたが、買掛金が1億36百万円、長期借入金が1億36百万円、リース債務が1億17百万円、未払金が77百万円それぞれ減少したことによるものであります。

② 純資産

当連結会計年度末の純資産は、前連結会計年度と比べ1億42百万円減少し33億38百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純損失の計上等により利益剰余金が2億30百万円減少したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ5億58百万円増加し16億40百万円（前年同期比51.7%増）となりました。

営業活動の結果得られた資金は4億75百万円（前年同期3百万円の収入）となりました。主な内訳は、減価償却費5億50百万円、棚卸資産の減少3億65百万円、売上債権の減少1億38百万円、税金等調整前当期純損失2億13百万円、投資有価証券売却益1億98百万円であります。

投資活動の結果得られた資金は2億95百万円（前年同期4億96百万円の支出）となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出1億8百万円、無形固定資産の取得による支出25百万円、投資有価証券の売却による収入4億37百万円であります。

財務活動の結果支出した資金は2億11百万円（前年同期比11.0%増）となりました。主な内訳は、長期借入れによる収入4億10百万円、短期借入金の純増による収入2億円、長期借入金の返済による支出5億46百万円、リース債務の返済による支出2億74百万円であります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
自己資本比率(%)	28.5	28.6	29.5	27.9	27.7
時価ベースの自己資本比率(%)	45.2	47.6	47.7	47.1	46.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	5.9	18.4	6.2	1,575.0	10.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	19.9	6.5	18.5	0.1	6.9

自己資本比率：自己資本／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。

(4) 今後の見通し

当社グループを取り巻く経営環境は依然として不透明感が強い状況にあります。国内では、賃上げの広がりや雇用環境の改善、インバウンド需要の回復などにより景気は緩やかな持ち直しが見込まれる一方、物価上昇が賃上げを上回る状況が続き、個人消費は力強さを欠くものと考えられます。海外においても、ホルムズ海峡の緊張による原油供給不安、ウクライナ情勢の長期化による物流・資源価格の不安定化、円安の長期化による輸入コスト上昇、金融市場の変動による世界経済の減速懸念など、当社の事業活動に影響を及ぼす要因が多く、先行きは一段と不透明な状況にあります。

当業界においても、原材料価格やエネルギーコストの高止まり、人手不足に伴う人件費の上昇、物流費の増加、消費者の節約志向の強まりなど、厳しい事業環境が継続する見通しです。

このような状況の中、当社グループが優先的に取り組むべき課題は以下のとおりです。

① 商品開発力の強化と価値訴求の徹底

消費者の節約志向が続く中でも選ばれる商品づくりを進めるため、安全・安心で価値ある商品の開発、需要変化に即応した商品ラインアップの見直し、新商品の開発と販売促進の強化を推進し、ブランド価値と市場競争力の向上を図ってまいります。

② 生産性向上とコスト構造改革

原材料価格やエネルギーコストの上昇が続く中、収益力改善に向けて、FSSC・ISO活動を活用した品質安定、生産ラインの集約と商品の絞り込みによる効率化、生産プロセスの見直しなど、持続的なコスト削減と生産性向上に取り組んでまいります。

③ 調達リスクの低減と安定供給体制の強化

地政学リスクや為替変動による調達環境の不安定化に対応するため、原産地・規格変更を含む柔軟な調達戦略、調達先の多様化によるリスク分散を進め、安定供給体制の強化を図ってまいります。

④ 人材確保と働きやすい職場環境の整備

人手不足が続く中、働き方改革の推進、生産現場の省力化・自動化、教育・研修の充実による人材育成、社員満足度向上に向けた職場環境整備に取り組み、持続的成長を支える人材基盤の強化を進めてまいります。

以上の施策により通期の業績につきましては、売上高279億円、営業利益80百万円、経常利益60百万円、親会社株主に帰属する当期純利益80百万円を見込んでおります。

なお、上記見通しにつきましては、世界情勢や国内の動向等現時点で見込める影響を考慮しておりますが、今後の状況により業績予想の修正をする可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内同業他社との比較可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を採用しております。

なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、コストベネフィットを比較考量した結果や海外展開していない現況を踏まえ、当面適用しないとの結論に至っております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,407,371	1,966,855
売掛金	2,640,986	2,504,200
商品及び製品	1,345,235	990,789
仕掛品	253,689	242,944
原材料及び貯蔵品	225,258	225,013
その他	71,004	46,173
貸倒引当金	△3,167	△2,499
流動資産合計	5,940,378	5,973,476
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,315,285	6,330,316
減価償却累計額	△4,875,074	△5,022,346
建物及び構築物（純額）	1,440,210	1,307,970
機械装置及び運搬具	1,876,861	1,690,707
減価償却累計額	△1,563,156	△1,414,967
機械装置及び運搬具（純額）	313,705	275,739
工具、器具及び備品	485,933	525,444
減価償却累計額	△412,985	△433,662
工具、器具及び備品（純額）	72,948	91,782
土地	1,620,390	1,577,122
リース資産	4,608,608	4,247,695
減価償却累計額	△3,937,965	△3,683,076
リース資産（純額）	670,643	564,619
建設仮勘定	-	1,890
有形固定資産合計	4,117,897	3,819,123
無形固定資産	267,082	242,336
投資その他の資産		
投資有価証券	1,728,450	1,553,009
退職給付に係る資産	147,656	216,223
その他	278,724	273,001
貸倒引当金	△13,421	△11,974
投資その他の資産合計	2,141,409	2,030,260
固定資産合計	6,526,389	6,091,720
資産合計	12,466,767	12,065,197

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,288,222	2,151,385
短期借入金	2,605,000	2,805,000
1年内返済予定の長期借入金	495,367	486,413
1年内償還予定の社債	-	200,000
リース債務	263,036	225,805
未払金	543,129	465,765
未払法人税等	22,603	36,224
賞与引当金	85,584	65,503
役員賞与引当金	2,707	-
その他	314,343	324,080
流動負債合計	6,619,994	6,760,177
固定負債		
社債	200,000	-
長期借入金	908,326	780,400
リース債務	486,580	406,600
繰延税金負債	323,354	354,319
執行役員退職慰労引当金	15,005	17,933
退職給付に係る負債	317,867	294,444
その他	114,909	113,015
固定負債合計	2,366,043	1,966,713
負債合計	8,986,037	8,726,890
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,080,500	1,080,500
資本剰余金	684,424	684,424
利益剰余金	1,018,939	788,530
自己株式	△5,103	△5,103
株主資本合計	2,778,760	2,548,351
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	630,935	670,981
退職給付に係る調整累計額	71,034	118,973
その他の包括利益累計額合計	701,970	789,954
純資産合計	3,480,730	3,338,306
負債純資産合計	12,466,767	12,065,197

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	28,088,795	26,565,217
売上原価	24,347,435	23,040,205
売上総利益	3,741,360	3,525,011
販売費及び一般管理費	4,173,837	3,908,078
営業損失(△)	△432,477	△383,066
営業外収益		
受取利息	205	822
受取配当金	33,164	40,830
補助金収入	4,136	15,852
受取賃貸料	28,036	27,038
その他	18,844	12,508
営業外収益合計	84,388	97,051
営業外費用		
支払利息	50,876	67,237
その他	6,272	7,812
営業外費用合計	57,148	75,049
経常損失(△)	△405,237	△361,064
特別利益		
投資有価証券売却益	7	199,448
特別利益合計	7	199,448
特別損失		
投資有価証券売却損	1,260	502
固定資産除却損	3,488	8,028
減損損失	133	43,268
特別損失合計	4,882	51,799
税金等調整前当期純損失(△)	△410,112	△213,415
法人税、住民税及び事業税	15,854	16,993
法人税等調整額	69,254	-
法人税等合計	85,109	16,993
当期純損失(△)	△495,221	△230,408
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△495,221	△230,408

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純損失(△)	△495,221	△230,408
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,507	40,045
退職給付に係る調整額	△11,605	47,939
その他の包括利益合計	5,902	87,984
包括利益	△489,319	△142,423
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△489,319	△142,423

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,080,500	684,424	1,555,231	△5,103	3,315,052
当期変動額					
剰余金の配当			△41,070		△41,070
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△495,221		△495,221
自己株式の取得				—	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△536,292	—	△536,292
当期末残高	1,080,500	684,424	1,018,939	△5,103	2,778,760

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	613,427	82,639	696,067	4,011,120
当期変動額				
剰余金の配当				△41,070
親会社株主に帰属する当期純損失(△)				△495,221
自己株式の取得				—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	17,507	△11,605	5,902	5,902
当期変動額合計	17,507	△11,605	5,902	△530,389
当期末残高	630,935	71,034	701,970	3,480,730

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,080,500	684,424	1,018,939	△5,103	2,778,760
当期変動額					
剰余金の配当			—		—
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△230,408		△230,408
自己株式の取得				—	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△230,408	—	△230,408
当期末残高	1,080,500	684,424	788,530	△5,103	2,548,351

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	630,935	71,034	701,970	3,480,730
当期変動額				
剰余金の配当				—
親会社株主に帰属する当期純損失(△)				△230,408
自己株式の取得				—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	40,045	47,939	87,984	87,984
当期変動額合計	40,045	47,939	87,984	△142,423
当期末残高	670,981	118,973	789,954	3,338,306

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失 (△)	△410,112	△213,415
減価償却費	584,867	550,747
減損損失	133	43,268
引当金の増減額 (△は減少)	△23,779	△21,974
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△23,716	△68,567
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	10,850	37,850
受取利息及び受取配当金	△33,370	△41,652
支払利息	50,876	67,237
固定資産除却損	3,488	8,028
投資有価証券売却損益 (△は益)	1,252	△198,945
売上債権の増減額 (△は増加)	582,722	138,367
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,165	365,436
仕入債務の増減額 (△は減少)	△459,289	△136,837
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△25,140	41,809
その他	△178,689	△71,532
小計	81,257	499,819
利息及び配当金の受取額	33,370	41,652
利息の支払額	△52,837	△68,697
法人税等の支払額	△58,642	2,304
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,148	475,079
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△4,713	△4,982
投資有価証券の売却による収入	1,614	437,044
有形固定資産の取得による支出	△267,864	△108,182
有形固定資産の除却による支出	△2,978	△3,108
無形固定資産の取得による支出	△123,249	△25,289
貸付けによる支出	△250	-
貸付金の回収による収入	573	326
定期預金の増減額 (△は増加)	△100,067	△507
投資活動によるキャッシュ・フロー	△496,935	295,301
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	200,000	200,000
長期借入れによる収入	600,000	410,000
長期借入金の返済による支出	△630,162	△546,880
リース債務の返済による支出	△319,388	△274,506
配当金の支払額	△40,937	△17
財務活動によるキャッシュ・フロー	△190,487	△211,404
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△684,274	558,976
現金及び現金同等物の期首残高	1,765,838	1,081,563
現金及び現金同等物の期末残高	1,081,563	1,640,540

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、食肉加工品・惣菜その他加工品の製造及び販売、食肉の加工及び販売並びにこれに付随する業務を事業内容としており、これらを統合し食肉及び食肉加工品の製造・販売を単一のセグメントとして事業を行っております。そのため、セグメント情報については記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	1,695円00銭	1,625円64銭
1株当たり当期純損失(△)	△241円16銭	△112円20銭

(注) 1 前連結会計年度及び当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△495,221	△230,408
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△495,221	△230,408
普通株式の期中平均株式数 (千株)	2,053	2,053

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
純資産の部の合計額 (千円)	3,480,730	3,338,306
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	3,480,730	3,338,306
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数 (千株)	2,053	2,053

(重要な後発事象)

該当事項はありません。